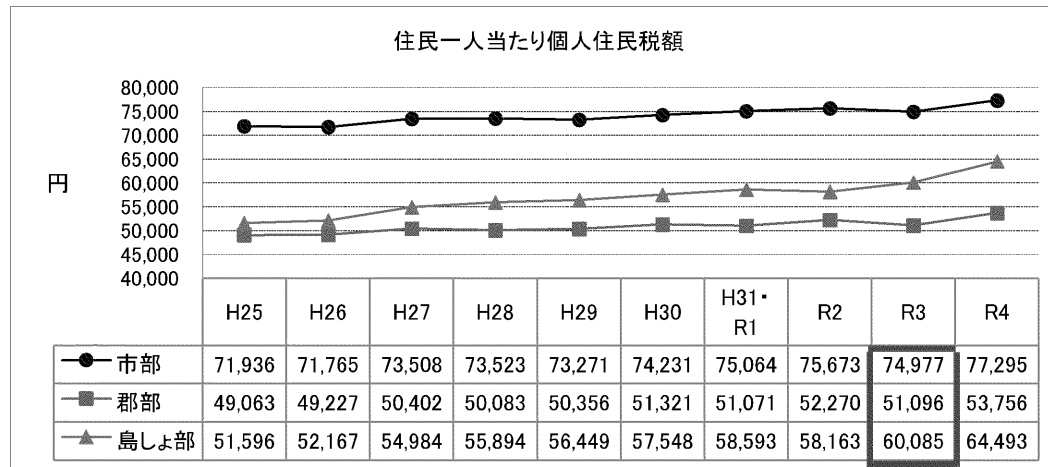


11 住民一人当たり個人住民税額

$$\text{住民一人当たり個人住民税額} = \frac{\text{市町村民税(個人分)}}{\text{住民基本台帳人口(令和5年1月1日現在)}}$$

この指標は、市町村民税(個人分)の歳入総額を住民基本台帳人口で割った額で表している。
地方税には、他に市町村民税(法人分)、固定資産税、都市計画税などがあることや、他の要素を加味する必要性もあることから、この指標だけでは市町村の裕福度を示す尺度とはならないが、おおよその傾向を把握することができる。



【過去10年間の推移と動向】

住民一人当たり個人住民税額は、増減を繰り返しながら、緩やかに増加している。
全てのエリアで令和4年度が最も高い数値となっている。